

◎ビジター 函館R.C. 長谷川権九郎君 外 5名 函館東R.C. 小山欽司君 外 9名  
◎幹事報告

1. 室蘭R.C. 2月12日例会は、17時に変更(於、常盤)
2. 旭川R.C. 1月30日例会は、千回記念夜間例会として、18時=ユ=北海ホテルに変更
3. 函館五稜郭仮R.C. 1月24日16時30分より、仮R.C. 発会式を行ないますので、多数ご出席下さい。(於 明月園、会費、登録料 その他1,000円)
4. 会費納入案内を発送しましたので、早めに納入して下さい。なお、米山奨学金が200円増額となっております。

◎卓話 函館半歳 函館税関長 波多江 俊 孝氏

“波止場並木に春風ふけば、沖でかもめが、ゆうらゆら”の作詩でコロンビヤからレコードにもなっている波多江さんをとの紹介者のあとをうけて……文春2月号に司馬遼太郎と犬養道子さんの“城塞賽河”の対談で、日本人は建前に拘泥しないのが、所謂バイタリティーの根元になつてると云つておりますが、我々の思想は絶対でなくて相対的に物ごとを考えるというわけでありませう。私も庶民の格言文化を考えてみると、“鳶が鷹を生む”“瓜のつるに茄子はならない”とか“虎穴に入らずんば虎子を得ず”“君子危ふきに近づかず”と総てひとつのこと両方から云うことも相対的な考え方の例証ではないかと考える訳です。また、私は学生時代から碁をたしなんでおりますが、“好きこそ、もの上手なれ”といいますが、“下手な横好き”免許は初段を貰いましたが、実力は2・3級の腕前と申せませう。私は前に道新紙上で役人らしくないとか、春風がふいている様な、とか称され、内心税関長としてどうかと恥いつておりますが、ものごとの二面性の観点から、自らを慰めている次第でございます。

当地は、以前私が在勤しました横浜と同じく安政の条約で開港、爾来110年の歴史を有している港町ですが、原因はともあれ110年の歳月は横浜は人口200万の大都市に、函館は25万の街と大きな格差を生じております。おそらく開港当時はこちらが先進地であつたと思ひます。両者を比較すると山手の洋館、教会、外人墓地等共通する点も多いわけですが、両市に住んでみての違う点は、横浜の場合は大震災、戦禍等もありましたが、大変カラッとしていて明るい。旧いものを情け容赦なく壊し、新しいものを造つてゆく。それに反して、当地では歴史の重みが感じられる。奈良、京都とは違いますが、我々の身近かな歴史が存在している。しつとりしに情緒がある。“かげ”と“ニューアンス”があると半歳の経験から感じます。真実味を感じます。流行歌で言えば森進一君の“港はこたてとおおり雨”と、いしだあゆみさんの“ブルーライト・ヨコハマ”ぐらいの差を感じます。よく、若い頃は、詩、小説を読み、中年では随筆を好み、老年では歴史を愛すると言ひますが、私の本棚にも購つたり著者が贈つて呉れる小説本といつしよに邪馬台国とか卑弥呼を論じた本が多い傾向になつてきており、こうした歴史的環境に住むことに喜びを感じる次第でございます。

ところで、函館税関の仕事は、本道と東北三県を抱え出先も20ヶ所を擁し、全国の三分の一を占める広大な地域を所管しておりますが、輸出入総額は年間2,000億円、全国の2%に過ぎず、実は残念に思つております。港に外国の貿易船舶が碇泊していないことも屢々あります。税関の職務は密輸の監視だけではなく大変領域が広く、一般の生活と密接な関係があり、また、文化財保護(海外流出防止)の役割等も含め70~80の法律の制約をうける貿易上の管理をしております。当地の輸出入の動きも、もつともつと増加する様に、現在、手がけられております函館広域経済圏の関税計画等にも役目を通じて、存分に協力してゆきたいと考えております。

次回例会日 2月4日です。

REVIEW AND RENEW (F・コンウエイR.I.会長)

再検討し 刷新しよう

Weekly Report



Hakodate North R.C.

例会日 毎週水曜日  
12:30~13:30

例会場 函館市若松町拓銀ビル7階  
五島軒駅前支店  
TEL 23-3870

1970. 2. 25

1969~1970 第33号

## 第288回例会



菅原 靖 会員

本日のプログラム

“化学肥料の草創期”

大井 安麿 会員

◎出席報告

45.2.18 会員数 45名 出席 33名 欠席 12名

45.2.4 会員数 45名 出席 36名 欠席 9名 メーカーキャップ 8名 97.78%

他クラブ状況 函館R.C. 2.5 91.94% 函館東R.C. 2.10 93.33%

## 第287回例会記録

◎斉唱 それでこそロータリー ◎司会 外山定男会長

◎ビジター 士別R.C. 岡田小治君 酒類販売 森R.C. 谷義一君 電気工事  
松前R.C. 大久保智徳君 電気工事  
函館R.C. 木島茂君 外6名 函館東R.C. 金子金四郎君 外8名

◎ 伝達事項 第350地区を二地区に分割することのR.I.決議紹介

R. I. は、細則第13条第1節の規定はより、1970年7月1日付、第350地区を構成するクラブを二地区に分割することを決議する。

第350地区

北海道のうち、留萌支庁内羽幌町の北境界線、空知支庁の北及び東境界線、胆振支庁の北東境界線、日高支庁の北及び東境界線をもつて、境界線とする北側及び東側の地域

第351地区

第350地区境界線の南側及び西側の地域

◎ 卓話 “函館圏開発と亀田町の役割” 亀田町長 吉田政雄氏

亀田町と函館市は合併すべきであると考え、促進に努力してまいりましたが、最近、両者の気運が急速に燃えはじめ、喜んでいる次第であります。函館は安政6年、横浜とともに開港して以来、北海道開発の起点、経済文化の中心地として、国内でも有数な都市の一つでありました。行政の中核が札幌に移つてからも北洋の基地として、本道最大の都市の地位を長く保ちました。その後、北海道の開発が進むにつれ地方都市が形成され、本道を包括する経済圏に分化を来し、順次、函館の本道に占める相対的地位は低下してまいりました。戦後は、北洋の利権は失う打撃をうけたが、港湾の機能、商業金融の経済力、本州と結ぶ交通の要衝の立地条件から、本道に於ける重要な都市には変わらなかつたが、昭和25年から本道の開発政策が道央・道東重点になり、道南の地位を低下させました。昭和27年、北洋漁業が再開されましたが、函館を再生させる主導力にはならなかつた訳です。昭和30年代の北海道総合開発計画でも、主眼は道央・道東に置かれ、札幌～東京間空路の充実、苫小牧工業港の脚光等から、函館は淋しい状態となつてまいりました。そこで、この俥にして置けないと考え、昭和42年以来、函館市が中心となり、1市4町により“総合開発の基本構想”が練られ始めた訳です。この“構想には4本の柱”があり、①交通革命に対処しての長期計画をたてる。青函トンネル開通に絡む自動車縦貫道路の基地、ヘリーの基地、空港の拡充。②広域的視野で考えること。③国、道の計画に調和・反映させる。④民間の経済活動が計画的にするため指針をつくる。以上のことから、私どもは、どんなビジョン、都市像を持つているかと申しますと、④新しい時代の要請に応える交通の要衝の形成。⑤南北海道の拠点都市の地歩は失なわない。⑥港湾機能を活動した総合的産業都市にする。臨海工業地帯の形成、流通センターの設置、貿易振興、観光資源の開発。⑦高度の文化水準を誇る理想的な中規模都市を創る。総合大学を設置したい。この様な函館圏のビジョンから、亀田町の役割はどうかと申しますと、亀田は住宅地帯、準工業地帯、そして、流通地域として考えている。函館は将来、空港拡張するとともに、都市改造をしなければならぬ、亀田町の増加人口の7割は函館市から移つてきているが、機能も移つてきている。亀田町は、本年10月に5万人の町にならうとしている。私は、機能も人口も計画的に迎え入れるために、新都市計画法の適用を考えている。秩序のある街、軽工業中心の工業地域、また、西桔梗地には流通センターを設置、経済的機能を移転させ、商業地区を形成させ、商社・問屋街をつくつて行きたいと考えている。この地区は、国道・道々・町道が交錯する交通の要衝になることは間違いない。函館の人口が減少することは淋しいことではなく、函館圏としては発展しており、圏内の異動に過ぎない。産業・経済・文化の生活圏が共通であり、一体になっている。函館市と亀田は行政区域は別だが、住民の意識から生活圏は全く同じだといえるし、行政的にも連繫をとらなければやつて行けなくなつてきている。合併は早く実現する方が、市民・町民の生活の内容を充実させるためになるし、道南の振興のためにも早く実現させる必要があると考えています。両市町の自治振興委員会でも、話し合いの空気も生れつつあります。皆様にも、この空気を更に高めるために、お力添を賜われれば、甚だ幸いと存ずる次第であります。

次回例会日 3月4日です。

REVIEW AND RENEW (F・コンウェイR.I.会長)  
再検討し 刷新しよう



1970. 3. 4

1969~1970 第34号

第289回例会



菅原 靖 会員

本日のプログラム

“あきない80年のあゆみ”

函館R.C. 秦 良平 会員

◎ 出席報告

45.2.25 会員数 45名 出席 33名 欠席 12名  
45.2.18 会員数 45名 出席 32名 欠席 13名 メーカーキャップ 13名 100%  
他クラブ状 報函館R.C. 2.12 92.68% 函館東R.C. 2.17 92.21%  
五稜郭R.C. 2.13 100%

第288回例会記録

◎司 会 外山定男 会長 ◎育 唱 我等の生業  
◎ビジター 伊豆長岡R.C. 梅原清一君(鉱業) 茅ヶ崎R.C. 真野新一君(貴金属)  
函館R.C. 木島茂君 外8名 函館東R.C. 出村喜作君 外12名  
3月21日(土曜日)松前クラブ結成1周年記念例会でありますので多数ご出席下さる様に願います(登録料1,000円)